

市町村名	与那原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	大綱曳倉庫・作業場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成25～26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 -1-(1)	
事業内容	現在、仮設倉庫に一時保管している与那原大綱曳関連運備品等の適切な保管、大綱の資材となる藁の保管及び網づくり作業場の確保のため倉庫を建設する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		25年度	25年度(繰越)	26年度	27年度	28年度
		(a)当初予算額	46,250	-			
		(b)予算現額	46,250	-			
		(c)増減額(b-a)	0	-			
		(d)繰越額	-	46,250			
	B.執行済額	A.計(b+d)	46,250	46,250			
		うち交付金充当額		34,541			
		次年度繰越額	46,250	0			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	93.4%			
	予算の状況の説明		予算の残額について、設計は入札によるものと、用地購入は予算確保時から用地購入時点での土地単価下落によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計	目 標	(用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計)	()	()	()	
		実 績	・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	用地購入については、事業認定を受けたことにより地権者の要望を満たしたことにより、売買の合意が得られた。 建設の基本・実施設計については懸案であった基礎工法もボーリング調査により確定したため、完了することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計	目 標	()	(用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計)	()	()	()
		実 績		・用地取得 2,299㎡ ・建設基本・実施設計			
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成26年9月から事業認定申請業務開始し、平成27年3月上旬に認定を受け、それにより地権者の要求を満たすことができ、3月中旬に売買契約を交わし、用地購入が完了。設計業務については27年度に建設予算が確保できなかったため、建築確認申請業務を除く変更を行い、3月下旬に完了した。今後は建築予算の確保ができ次第、建築工事を実施し平成28年度中の完成を目指す。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	用地の選定については不動産業者からの情報によるものであったため、交渉について業者を挟む形となり、これにより条件提示等が直接交渉より困難な状況になったと思われる。	今後は不動産業者の情報であっても安易に業者を挟むのではなく、個別で交渉にあたるよう努めて早期の交渉妥結ができるようにする。
今後の取り組み方針		
与那原大綱曳まつりが本町において歴史的な行事のみではなく、観光資源としての役割も担っており、早急な倉庫建設が求められている。そのため早期に建設予算を確保し、建設を実施して現在予定されている道具の収納等に併せて様々な活用方法を模索していくこととする。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
43,176	43,176	34,541	8,635	0

```

            graph LR
                A[与那原町  
43,176千円] --> B[公有財産購入費  
32,645千円]
                A --> C[委託料  
10,531千円]
                B --> D[個人(2人)  
32,645千円]
                C --> E[㈱国吉設計  
9,796千円]
                C --> F[㈱シビルエンジニアリング  
735千円]
                D --- G[倉庫建設に必要な土地の購入]
                E --- H[建設基本・実施設計]
                F --- I[ボーリング調査]
        
```

資金の 使途の 流れ、 費目、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○設計の委託業者については一般競争入札で選定しており、妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ボーリング調査については随意契約であるが、三者見積りを取ったところ、決定した額は他2社の半額以下で実施できたため妥当であると考ええる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模についても不用額は入札残や地価の下落によるもので、適正であった。費目・使途についても検査により目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	来訪者と町民の交流施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	本町が取り組む新たな観光資源創出の一環として、来訪者と町民が親睦を深める交流会等の開催が可能な施設を整備することで、将来のリーダーを生み出し持続可能な観光振興を図る。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		24年度	24年度(繰越)	25年度	25年度(繰越)	27年度
		(a)当初予算額	50,750	-	931,000	-	
		(b)予算現額	50,750	-	931,000	-	
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d)繰越額	-	50,000	0	920,707	
	A. 計(b+d)		50,750	50,000	931,000	920,707	
	B. 執行済額		410	50,000	10,292	918,653	
	うち交付金充当額		328	25,564	8,234	734,922	
	次年度繰越額		50,000	0	920,707	0	
	執行率(%) (B/A)		0.8%	100.0%	1.1%	99.8%	
予算の状況の説明		計画通りに事業を執行することができたが、実施設計に時間を要したため、工事が遅れてしまい繰り越しをすることとなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	実施設計及び建設工事の実施	目 標	(基本・実施設計の策定)	(実施設計及び建設工事の実施)	()	()	
		実 績	基本・実施設計の策定	実施設計及び建設工事の実施			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	実施設計及び建築工事を実施することができたが、実施設計の検討にあたり、県内施設の視察や内部の検討に時間がかかり、工事のスタートが遅れてしまった。平成27年度事業と合わせて実施し、建物を完成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	実施設計及び建築工事(進捗率40%)の実施	目 標	()	(基本・実施設計の策定)	(・実施設計・建築工事40%)	()	()
		実 績		基本・実施設計の策定	実施設計作成 建築工事40%		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	実施設計の検討にあたり、県内施設の視察や内部の検討に時間がかかり、工事のスタートが遅れてしまった。平成27年度事業と合わせて実施し、建物を完成することができた。今後は平成27年度中の供用開始を目指して、備品の整備及び運営内容の検討を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・実施設計の検討に時間を要した為、工事のスタートが遅れてしまった。	・基本設計段階でどれだけ多くの内容を詳細に検討するかどうか、スムーズな実施設計策定につながる。
今後の取り組み方針		
平成25年度事業の執行については、スケジュールの遅れが生じたが、平成27年度中の完成は達成することができたため全体のスケジュールに影響は出ていない。今後は、早期に供用開始をさせる為、運営方法の検討と備品整備を行い、施設の活用を図っていきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
与那原町 928,945千円 役務費 592千円 (株) 泉設計 526千円 (株) 泉設計 22千円 (株) 泉設計 44千円 委託費 33,410千円 (株) 泉設計 9,745千円 (株) 泉設計 13,338千円 (株) 沖縄計測 10,327千円 工事請負費 894,943千円 (株)仲本工業・(株)技建・(株)共立実業JV 328,870千円 (株)照正組・(有)儀武組・(株)長嶺商会JV 298,651千円 沖縄水質改良(株)・(有)日進設備工業JV 63,510千円 (有)田端設備工業・(有)ケイエイ工設JV 32,918千円 (株)マテックス 22,044千円 ハナソニックESインテグレーション(株)・(株)興洋電子JV 62,571千円 (株)興洋電子・(有)向陽電設JV 86,378千円 総事業費 928,945 交付対象事業費 928,945 交付金充当額 743,156 市町村負担金 185,789 交付対象外経費 建築確認申請手数料 工作物申請手数料 建築確認中間検査手数料 実施設計委託料 工事監理委託料 磁気探査業務 建築工事第1工区 建築工事第2工区 機械1工区 機械2工区 舞台機構 電気1工区 電気2工区				
資金の流 使途の流 点検・費 目・費 目・費 目・費	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・入札、プロポーザル等の実施や財務関係規則に準じた見積徴取などを行い業者を選定している為、支出先の選定方法は妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・執行率は99%と高く予算規模は適正であった。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目、使途については完了検査により確認しており目的に即し、必要なものである。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那原町						
平成 2 5 年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8	軽便鉄道与那原駅跡公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成24年度～平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	与那原駅跡を復元し、軽便鉄道の歴史を感じる与那原町の新しい観光スポットとして公園及び道路の整備を行う。軽便鉄道の与那原駅跡の整備後、高齢者や障がいをもつ方々が利用しやすい環境を整備するため駐車場用地を購入し駐車場の整備を行う。 また、駅跡整備に関してより魅力ある観光スポットとする為、公園部分追加整備を行うとともに、平成24年度に引き続き駅跡整備を実施する。						
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	86,125		130,000	-	
		(b)予算現額	86,125		130,043	-	
		(c)増減額(b-a)	0	0	43	-	
		(d)繰越額	-	52,673	-	117,699	
		A.計(b+d)	86,125	52,673	130,043	117,699	
	B.執行済額		33,452	52,673	24,301	101,145	
		うち交付金充当額	26,761	42,138	19,441	80,916	
		次年度繰越額	52,673		117,699	-	
	執行率(%) (B/A)	38.8%	100.0%	18.7%	85.9%		
	予算の状況の説明	用地購入に係る積算及び諸手続きに時間を要したため繰り越した。繰越後は用地購入及び外構整備を実施し事業を完了し、平成27年1月末に供用開始をしている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
	・外構部分の整備 ・駐車場の整備 ・駐車場部分の用地購入	目 標	・不動産鑑定・用地取得・公園設計、道路設計・工事	・外構部分の整備・駐車場の整備・駐車場部分の用地購入			
		実 績	・不動産鑑定 ・用地取得 ・建築及び外構設計	・外構整備・用地購入			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	達成状況説明	外構整備については予定通りに執行することができ、供用開始を実施している。用地購入については、駐車場部分の他、駅前広場部分についても範囲を広げて購入している。駐車場の整備については、工事途中において、軽便鉄道で使用されたと考えられるレールが見つかったため、中止した。中止した駐車場部分については本町の文化担当課による調査が平成27年度に実施される予定となっている。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	・外構部分の整備 ・駐車場の整備 ・駐車場部分の用地購入	目 標	()	(整備事業の着手)	・外構部分の整備・駐車場の整備・駐車場部分の用地購入	()	()
		実 績		整備事業へ着手し取合が完成	・外構整備・用地購入		
		目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	外構の整備及び用地購入を実施することができた。駐車場の整備については、平成26年11月に当時のものと思われる軽便鉄道のレールが発見されたため、工事を中止した。工事を中止した部分については、文化担当課による調査を平成27年度で行う予定となっており、その結果に応じて再度整備を検討したいと考えている。 駅舎については、平成27年1月に供用開始をしており、多くの来場者がある。平成27年度については、駅前広場の整備を実施しさらに、集客数を増やせるよう活用をしていきたいと考えている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・年度途中において、新たに駅前広場整備を実施することとなった。本来なら当初計画に盛り込んでいるべきである。 ・想定していなかった軽便鉄道で使用されていたと考えられているレールが出てきたため、駐車場の整備ができなかった。	・当初計画の十分な検討が必要である。担当課だけではなく、町全体で考えていくための仕組みづくりが必要である。 ・当時を知る地域の方々への聞き取りを実施し、当該場所には当時の資料は残されていないとの結論であったため、工事を進めてきたがレールが出てしまった。しかし、当該レールの発見は軽便与那原駅舎展示資料館の認知度を高めたと共に、来場者の関心の高さを集客力アップにつながったと考えている。
今後の取り組み方針		
平成27年度においては駅前広場(仮称)を整備し多くの来場者の受け入れる体制を作っていくと共に、運営協議会を立ち上げ展示資料館としての機能の向上と、与那原町の観光振興における活用方法について意見を伺い、各種施策を実施していきたいと考えている。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		125,446	125,446	100,357	25,089	
与那原町 125,446千円	役務費 868千円	沖縄県 手数料 158千円	・土地購入に係る事業認定申請手数料			
		仲程不動産鑑定(株) 300千円	・用地購入に伴う不動産鑑定			
		(株)琉球新報開発 410千円	・事業認定に係る説明会告知料			
	委託費 4,906千円	(株)大宝エンジニア 2,992千円	・用地購入に係る補償費算定業務			
		(株)大洋土木コンサルタント 1,050千円	・外構整備設計業務			
		(株)大宝エンジニア 864千円	・事業認定資料作成業務			
	工事請負費 25,372千円	(株)共立実業 12,909千円	・建築・電気・設備工事			
		(有)田端設備工業 12,463千円	・通路・広場整備工事			
	公有財産購入費 29,597千円	沖縄県 1件 7,050千円	・外構整備用地購入 ・駐車場用地購入費			
		個人所有地 3件 22,547千円				
	補償、補填及び賠償金 64,700千円	個人所有物 3件の補償 64,700千円	・外構整備用地購入に係る物件補償費			
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明		
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・支出先の選定は入札及び財務関係規則に基づき複数見積等により選定しており妥当である。 ・不用額も5%以内であり予算規模は適正である。 ・費目、使途についても完了検査などにより確認しており、事業実施のために必要なものに限定され、適正である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				